

プレスリリース - 2019年4月23日 (火)



YOKOHAMA
OTOMATSURI
横浜音祭り

横浜音祭り2019 日本最大級の音楽フェスティバルが この秋、横浜を舞台に開幕

3年に一度、横浜で開催される日本最大級の音楽フェスティバル「横浜音祭り2019」が、9月15日(日)に開幕します(会期:9月15日(日)~11月15日(金))。

国内外で活躍するトップアーティストによるオリジナル公演、子供たちがプロのミュージシャンに学ぶワークショップ、週末ごとに街なかで様々な音楽が楽しめる参加型ステージなど、横浜の街を舞台に約300のプログラムを展開し、街中がオールジャンルの音楽で溢れる62日間となります。ディレクターには2013年、2016年に引き続き新井鷗子を迎え、以下の5つのみどころを軸に開催します。

「横浜音祭り2019」のみどころ

1. 横浜“発”、横浜“初”。

オリジナルコンテンツを世界に発信

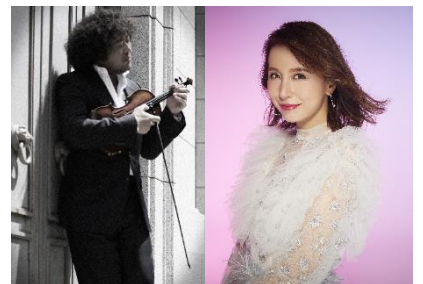
トップアーティストによる新たなチャレンジ、異なる音楽ジャンルのコラボレーションや、アートや映画など音楽以外の分野との組み合わせなど、創造的なコンテンツを横浜から発信します。

「横浜音祭り2019オープニングコンサート」(9月15日)ではイタリア出身の若きカリスマ、アンドレア・バッティストーニが、日本で最も歴史の古いオーケストラである東京フィルハーモニー交響楽団を指揮します。



アンドレア・バッティストーニ (c)Takafumi Ueno

「横浜音祭り2019クロージングコンサート」(11月15日)では葉加瀬太郎とMay J.のコラボレーション企画や、創立20周年を迎えた横浜シンフォニエッタを中心としたこの日限りの特別編成による極上の一夜を堪能できます。



葉加瀬太郎

May J.

2. 舞台は横浜の「街」そのもの。

街じゅうが音楽空間

好きな音楽を、好きな場所で。音楽ホールでの公演だけでなく、横浜の景観を活かしたオープンスペースでのコンサートや市民の皆さんに身近な施設でのプログラムを実施します。

日本で初めてパイプオルガンが設置された横浜にある7カ所の個性的なパイプオルガンを聴き比べながら、街の魅力を体感できるコンサートシリーズ「パイプオルガンと横浜の街」や、週末を中心に開催される観覧無料のストリートライブイベント「街に広がる音プロジェクト」も楽しむことができます。



横浜にある8カ所の個性的なパイプオルガンを巡ることができる「パイプオルガンと横浜の街」

プレスリリース - 2019年4月23日 (火)

「横浜音祭り2019」のみどころ

3. あらゆる人に音楽の楽しみを。

クリエイティブ・インクルージョン

さまざまな音楽ジャンルを取り込み、国籍、人種、世代、性別や障害の有無を超えて、あらゆる方々が参加でき、楽しめるフェスティバルを展開します。

今回は初めての試みとして、障害など身体的制約があり外出することができない人の気持ちを伝える分身ロボット「OriHime」を活用し、その場になくても感動を共有できるような環境づくりをします。音楽フェスティバルでの「OriHime」の活用は「横浜音祭り2019」が初となります。

さらに、視覚障害のあるヴァイオリニスト・川島成道と、同じく障害のある演奏家とない演奏家によるアンサンブルが、楽譜も何も見えない真っ暗闇の空間で演奏する「ミュージック・イン・ザ・ダーク」(11月2日)も開催します。

4. 音楽との出会いが、子供たちを待っている。

クリエイティブ・チルドレン

学校への出張コンサートや、普段なかなか接する機会のないプロアーティストに直接技術を学ぶワークショップなどを実施し、横浜の未来を担う子供たちの豊かな創造性や感受性を育みます。

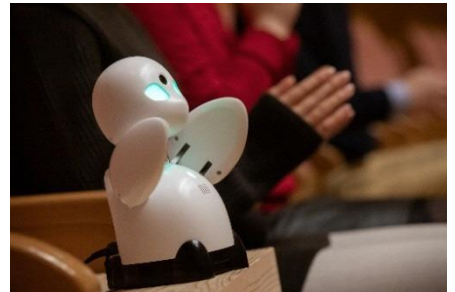
ももいろクローバーZをはじめ、さまざまなアーティストの映画・舞台・CDの音楽制作や歌唱指導を行っている益田トッシュを講師に迎え、横浜市在住・在学の高校生を対象にワークショップを開催し、「ヨコハマ・ポップス・オーケストラ」(11月1日)の出演者をオーディション選出します。選ばれた高校生はコンサート当日、ももいろクローバーZと共に、ワークショップの成果を披露します。

5. 2020年に向けて、機運を盛り上げる

英国との連携プログラム

横浜市がラグビー・ワールドカップ2019™において、スコットランドチームの公認チームキャンプ地として登録され、東京2020オリンピック・パラリンピックにおける英国オリンピック代表チームのホストタウンとして登録されたことから、横浜音祭り2019でも英国と連携した音楽プログラムを開催します。

世界最大の芸術フェスティバルと言われる英国「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」で注目を集めた「Anno」が日本初上陸するほか(9月16日)、元町ショッピングストリートにて英国女王陛下近衛軍楽隊によるパレードも開催します(10月14日)。



分身ロボット「OriHime」

(c)oono ryusuke



「林英哲 特別支援学校・和太鼓ワークショップ」

(c)S.Oguma



「益田トッシュ先生の高校生ポップスソングワークショップ」では、参加者がオーディションにより、ももいろクローバーZとの共演も



Anno (c)Hugh Carswell 2016

英国近衛軍楽隊

公演や出演アーティストの詳細については、以下公式サイトをご覧ください。

<https://yokooto.jp/>

次ページあり

プレスリリース - 2019年4月23日 (火)

[開催概要]

フェスティバルタイトル 横浜音祭り2019(ヨコハマオトマツリ ニセンジュウキュウ)

会期 2019年9月15日(日)~11月15日(金) <62日間>

会場 横浜市内全域 (横浜の“街”そのものが舞台)

ジャンル クラシック、ジャズ、ポップス、日本伝統音楽などオールジャンル

プログラム数 約300

ディレクター 新井鷗子

主催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

共催 横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

後援 観光庁、神奈川県、公益財団法人神奈川芸術文化財団、
公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、横浜商工会議所、
一般社団法人横浜青年会議所、神奈川新聞社、NHK横浜放送局、
tvk(テレビ神奈川)、アール・エフ・ラジオ日本、FMヨコハマ、
横浜市ケーブルテレビ協議会

助成 平成31年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

協賛 ナイス株式会社、日産自動車株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社JVCケンウッド、
スターツグループ、株式会社そごう・西武 そごう横浜店、
株式会社高島屋 横浜店、横浜銀行
イーエムティー株式会社、上野トランステック株式会社、株式会社キタムラ、
崎陽軒、クイーンズスクエア横浜、ケン・コーポレーショングループ、
株式会社サカタのタネ、J:COM、凸版印刷株式会社、NEC、原鉄道模型博物館、
NTT東日本、株式会社ヤマハミュージックジャパン

協力 キリンビール株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相鉄グループ、
東京急行電鉄株式会社、富士ゼロックス株式会社、横浜信用金庫

認証 beyond2020プログラム

公式サイト <https://yokooto.jp/>

<本件に関する報道関係のお問い合わせ先>

横浜音祭り2019広報事務局((株)ブラップジャパン内) 担当:本郷(ほんごう)・横澤(よこざわ)・比田井(ひたい)

TEL:03-4580-9109 / FAX:03-4580-9135

E-mail: yokooto2019pr@ml.prap.co.jp

<フェスティバル全体・開催内容についてのお問い合わせ先>

横浜アーツフェスティバル実行委員会事務局 担当:會田(かいだ)・岩波(いわなみ) TEL:045-663-1365

(横浜市文化観光局文化プログラム推進課) TEL:045-671-3682 / FAX 045-663-1928

横浜音祭り2019開催概要発表記者会見 <2019年4月23日（火）スパイラルホール>

登壇者プロフィール

[横浜音祭り2019ディレクター]



(C)平館平

[登壇ゲスト]

新井 鷗子(あらい おーこ)

東京藝術大学楽理科および作曲科卒業。
NHK音楽教育番組の構成で国際エミー賞入選。
これまでに「読響シンフォニック・ライブ」「題名のない音楽会」「エンター・ザ・ミュージック」等の番組、コンサートの構成を数多く担当。東京藝大にて障害者を支援するワークショップやデバイスの開発に携わる。
著書に「おはなしクラシック」全3巻(アルテスパブリッシング)、「頭のいい子が育つクラシック名曲」(新星出版)、「ひとさし指のノクターン」(ヤマハ)等。
東京藝術大学特任教授、洗足学園音楽大学客員教授。
横浜音祭り2013、2016ディレクター。

菅野 祐悟(かんの ゆうご)

出演プログラム：『ヨコハマ・ポップス・オーケストラ2019本広克行プロデュース 横浜音祭りスペシャル【劇伴の若き匠 菅野祐悟】』（11月1日）

2004年、フジテレビドラマ『ラストクリスマス』でドラマ劇伴デビュー。以降、多くの映画、ドラマ、アニメーション作品を中心に幅広いメディアで活躍中。現在までに発表された楽曲は3,000曲を越える。2014年にNHK大河ドラマ『軍師官兵衛』、2018年にはNHK連続テレビ小説『半分、青い。』の音楽を手がける。

<主な作品>

映画「曇天に笑う」「祈りの幕が下りる時」「亜人」「昼顔」
ドラマ「パーフェクトワールド」「リーガルV～元弁護士・小鳥遊翔子～」
「刑事ゆがみ」「東京タラレバ娘」
アニメ「PSYCHO-PASS サイコパス」「ジョジョの奇妙な冒険 黄金の風/ダイヤモンドは砕けない/スターダストクルセイダース」



(C)松井康一郎 ワンミュージック

私立恵比寿中学(しりつえびすちゅうがく)

出演プログラム：『街に広がる音プロジェクト』

現役中学生が1人もいない「永遠に中学生」6人組グループ、通称「エビ中」。アリーナコンサート・単独野外フェス・バラエティ・映画・舞台・モデルなど縦横無尽に活躍。結成10周年イヤーとなる2019年は3月に岡崎体育、吉澤嘉代子をはじめ、10代の気鋭ミュージシャンMega Shinnosukeに加え、V-Tuberとしても活躍する東雲めぐ、そして先輩であるももいろクローバーZなど多数のアーティストとコラボを果たした5th Album『MUSIC』に続き、6th Albumをリリース予定。4月からは川谷絵音をサウンドプロデューサーに迎えた、テレビドラマ『神ちゅーんず～鳴らせ！DTM女子～』に全員主演。さらに6月22日に横浜・赤レンガ倉庫で単独アイドルが主催する史上初の音楽フェス『MUSIC FES』を開催。



葉加瀬 太郎(はかせ たろう)

出演プログラム：『横浜音祭り2019クロージング コンサート 葉加瀬太郎 featuring May J. The Symphonic Night』（11月15日）

1990年KRYZLER&KOMPANYのヴァイオリニストとしてデビュー。
セリーヌ・ディオンとの共演で世界的存在となる。
1996年にKRYZLER&KOMPANYを解散後、ソロでの活動を開始。2002年、自身が音楽総監督を務めるレーベルHATSを設立。
コンサートツアーを含め、自身のレーベルHATS主催のHATS MUSIC FESTIVALや夏の野外コンサートを開催するなど、春夏秋冬1年を通して100本近い公演を毎年行っている。これからも精力的に国内外での活動の幅を広げ、音楽の楽しさと素晴らしさを葉加瀬らしく伝え続けていく。



横浜音祭り2019開催概要発表記者会見 <2019年4月23日（火）スパイラルホール>
登壇者プロフィール

[登壇ゲスト]

**林 英哲(はやし えいてつ)**

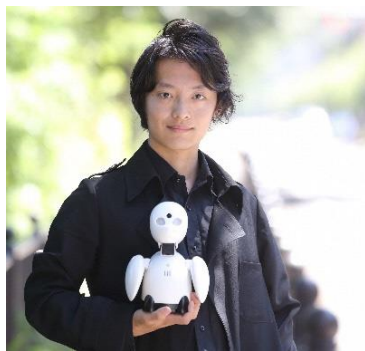
出演プログラム：『横浜音祭り2019スペシャルコンサート ～林英哲・太鼓の世界「レオナルド われに羽賜(はねた)べ〜」(11月9日)』
『林英哲 特別支援学校・和太鼓ワークショップ(仮)』

広島県生まれ。11年間のグループ活動後、82年太鼓独奏者として活動を開始。84年初の和太鼓ソリストとしてカーネギー・ホールにデビュー。現代音楽の分野でも前例のない和太鼓ソリストとして国際的に高い評価を得た。00年にはドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演、2万人を超える聴衆を圧倒させた。太鼓独奏者としてロック、ジャズ、現代音楽、民族音楽などの演奏家と共演しながら、かつての日本の伝統にはなかったテクニックと体力を要する大太鼓のソロ奏法の創造、多種多様な太鼓群を用いた独自奏法の創作などジャンルを超越した、まったくオリジナルな太鼓表現を築きあげている。

**村治 佳織(むらじ かおり)**

出演プログラム：『村治佳織の世界 I・II』(10月12日・26日)

幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、ビクターより15歳でCDデビューを飾る。1995年には、イタリア国立放送交響楽団との共演がヨーロッパ全土に放送され好評を得た。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。N響ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国の名門クラシックレーベルDECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。受賞歴も多く、第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオークラ音楽賞を受賞。2012年NHK-Eテレ「テレビでフランス語」や、J-WAVE(FM)のナビゲーターなど、多数の番組に出演。2017年4月よりJ-WAVE「RINREI CLASSY LIVING」のナビゲーターを担当している。11月には、ベストドレッサー賞(学術・文化部門)を受賞。昨年9月にリリースした『シネマ』は、第33回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。

**吉藤 健太郎(よしふじ けんたろう)<株式会社オリィ研究所 代表取締役 CEO>**

1987年生 奈良県出身

小学5年から中学3年まで不登校を経験。

高校で電動車椅子の発明を行いJSECIにて文部科学大臣賞、世界最大の科学コンテストIntel International Science and Engineering FairにてGrand Award 3rdを受賞。高専後、早稲田大学で「孤独解消」を目的とした分身ロボットの研究開発に取り組み、2012年(株)オリィ研究所を設立。青年版国民栄誉賞「人間力大賞」、スタンフォード大学E-bootCamp日本代表、AERA「日本を突破する100人」、フォーブス誌「30 Under 30 2016 ASIA」に選ばれ、2018年より、デジタルハリウッド大学大学院特任教授。

【以上、50音順】

[ビデオメッセージ出演]

**ももいろクローバーZ**

スターダストプロモーションに所属する百田夏菜子、玉井詩織、佐々木彩夏、高城れにの4人によるガールズユニット。愛称は“ももクロ”。2008年に結成し、翌年にシングル「ももいろパンチ」でデビュー。2010年のシングル「行くぜっ! 怪盗少女」でメジャーへ進出し、その後“ももいろクローバー”から改名。男女別限定ライブなどの斬新な企画やアクロバティックなステージングで注目を浴び、各界にも“モノノブ”と呼ばれる熱心なファンが出現。幅広い層から人気を博す。主演映画『幕が上がる』では日本アカデミー賞を受賞し、女優としても活躍。2016年には初の海外ツアーを開催するなど精力的なライブ活動を展開。